

よもぎた 議会だより

議会を傍聴しませんか
次の定例会は
6月11～13日開催予定です

第221号(令和7年5月14日発行)



小さな種もみ、大きく実って

あうんの呼吸ではかどる種まき作業。
発芽が待たれる苗箱から、春のにおいが
漂っていました。

目次

- 一般会計当初予算44億1,132万円を議決(第1回定例会)・・・P 2
- 予算特別委員会・・・・・・・・・・P 8
- あなたの声を村政に(一般質問 5議員)・・・P10
- 今年のホタテは大丈夫か(議会視察レポート)・・・P16
- 議員の主な活動・・・・・・・・・・P18

U R L <https://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/gikai/>
E-mail yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1211 青森県東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越1-3/TEL 0174-27-2111



44億1,132万円を議決

令和7年第1回定例会は、3月4日から7日までの会期で開かれました。

今定例会では、村長から諮問、条例制定・改正、補正予算、新年度予算など15件が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。



会 計 名	令和6年度予算額	令和7年度予算額	前年度比率
一般会計	49億7,400万円	44億1,132万円	-11.3%
特別会計			
学校給食センター	3,826万円	3,407万円	-11.0%
国民健康保険	4億8,375万円	4億7,607万円	-1.6%
介護保険	4億7,208万円	5億1,936万円	10.0%
後期高齢者医療	9,046万円	9,524万円	5.3%
事業会計			
簡易水道	1億491万円	1億257万円	-10.7%

前年度より5億6,268万円（11.3%）の減額

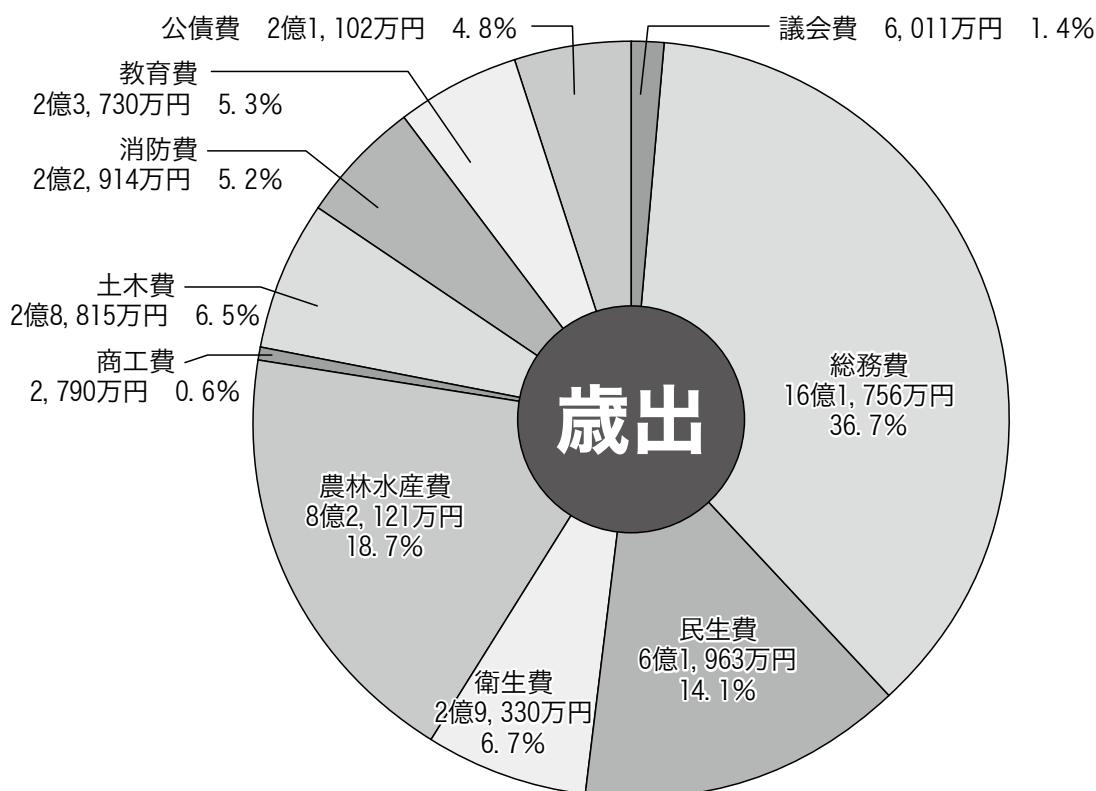
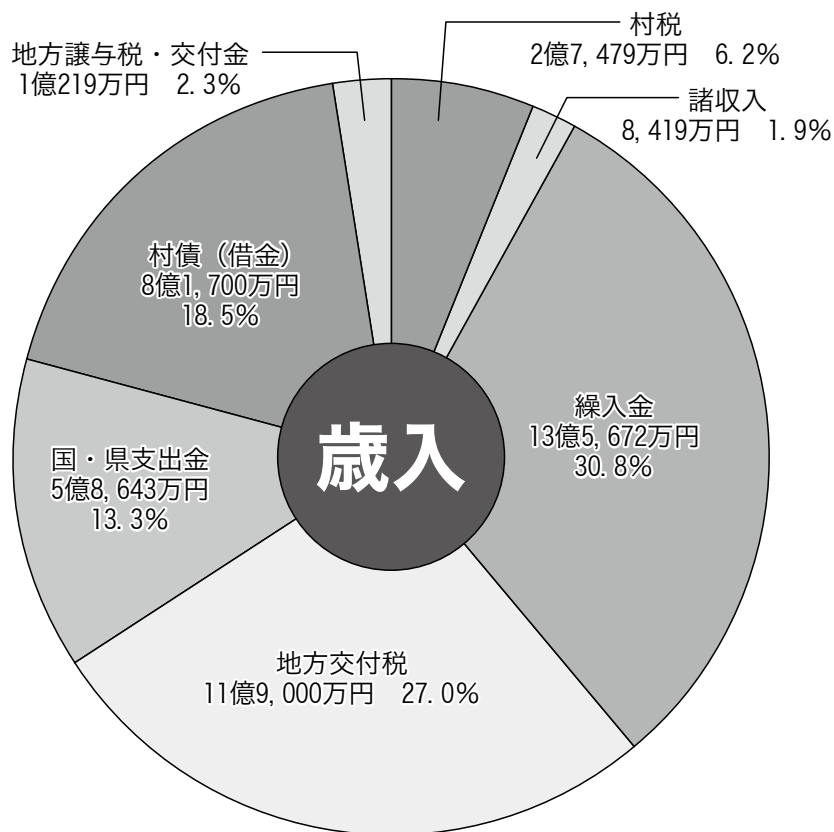
新庁舎建設事業に関連する物品購入、主要な工事が完了する見込みのため減額となった。



新庁舎建設現場の様子

令和7年 第1回 定例会

新年度 一般会計当初予算



令和7年度の新しい事業

CHECK

定
例
会

予
算
特
別
委
員
会

一
般
質
問

議
会
視
察

行 政

- ・ 役場新庁舎建設関連工事・業務 10億3,263万円
- ・ 消防団分団旗購入 261万円
- ・ 外ヶ浜分署庁舎建替事業負担金 1,257万円
- ・ 防火水槽撤去工事 1,600万円



健康福祉

- ・ ふれあいセンター屋上改修工事・設計・監理業務 3,717万円
- ・ よもぎ温泉源泉井戸浚渫工事・水中ポンプ交換工事 1,004万円

産 業

- ・ 農業用ハウス等導入支援事業補助金 700万円
- ・ 農業法人化支援事業補助金 40万円
- ・ 振興野菜パワーアップ支援事業補助金 600万円
- ・ ドローン購入関連事業 472万円
- ・ 新規イベント開催 410万円



建設

- ・農道橋点検業務委託 822万円
- ・村道5-1-1号線道路拡幅工事 6,405万円
- ・除雪ロータリー購入 6,616万円
- ・住宅リフォーム補助金 400万円



教育

- ・ラジコン草刈機購入 184万円

令和7年度施政方針



久慈修一村長

1. 役場新庁舎建設事業

庁舎・車庫建設や省エネ対策、備品購入のほか、庁内デジタル化、防災無線関連、外構、緑地造成などで総事業費28億円超の大規模事業となる。これを起点としてコンパクトシティー化を推進し、人口減少、少子化対策に資する。

また、災害に強い地域づくりを最大の目的とする。

2. こども・子育て支援対策と人口減少対策の推進

第3期「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」を策定し、特色ある効果的な政策を積極的に進める努力をする。

3. 産業振興方策

・農林業

耕作放棄地が増えないよう交付金を活用し高収益作物、一般野菜栽培への転換を進める支援もしていく。

農業用施設整備に投資し、持続性のある農業を目指す支援をしたい。離農する農家の増加が予想されるため、緊急措置として生産関連施設整備を優先して実施する。

ドローン導入による生産現場の技術高度化のため利用者支援と生産性の向上を資する。

・水産業

次年度以降の稚貝確保のため、漁協等が実施する事業に連携し支援する。

蓬田漁港東側防波堤改修工事を継続実施し、海の環境整備による資源養殖、後継者づくりを支援していく。

・商工業振興・観光施設整備
イベント開催、特産品づくり等を積極的に進め、地域の活性化を推進する必要がある。連携中枢中核都市圏イベントへの参加、村内観光施設整備を推進する。

第三セクター
蓬田紳装(株)は赤字に対し早期に対策を講じたい。ふるさと納税1億8000万円の貴重な財源を生み出す能力を持ったため、今後の状況を見て対処したい。よもぎたアシスト(株)の経営改善も進める。

4. 防災・減災対策の推進とコミュニティ醸成

第3分団の可搬式ポンプ、第5分団のポンプ積載車を更新し、避難所運営訓練、災害用施設・備品整備、住民の訓練を実施する。

5. 計画的行政推進と財政基盤の確立

人口減少、地域活性化対策などの重要課題解決のため各事業を着実に推進するため安定した行財政運営のため収支均衡を守り経常経費の削減に努める。

補正予算

会 計 名	補正金額	予算総額
一般会計	△4億9,084万円	48億 114万円
特別会計		
介護保険	74万円	4億9,732万円

(千円単位四捨五入)

■一般会計

■介護保険特別会計

・主に各種事業確定による
予算補正を行った。

条例改正・制定 と質疑

■蓬田村議会議員の個人情報
の保護に関する条例等の
一部を改正する条例

■蓬田村職員の勤務時間、
休暇等に関する条例の一部
を改正する条例

・根拠となる法律の改正に

より、関係条例を整理する
ために改正した。

■投（開）票管理者、選挙
長、投（開）票立会人並び
に選挙立会人の報酬及び費
用弁償額支給条例の一部を
改正する条例

・国会議員の選挙等の執行
経費に関する法律に規定す
る額と同額とし、投票管理
者及び投票立会人が交替し
て職務を行う場合の報酬額
を定めた。

■蓬田村職員の給与に関す
る条例の一部を改正する条
例

・青森県人事委員会の報
告、勧告に鑑み、職員の給料
月額、扶養手当、通勤手当、
昇給制度の一部を改めた。

■蓬田村国民健康保険税条
例の一部を改正する条例

・厚生労働省の保険料水準
統一加速化プランが改定さ
れ、国民健康保険税の算定
方法から資産割を廃止する
ため改正した。

Q (久慈議員) 資産
割がなくなるとど
うなるのか。また国保予算
の歳入は減るのか。

A (吉田税務課長)
村では、資産割を
削除することにより固定資
産等で算定される部分がな
くなる。今まで資産割を
払っていた人は安くなる。

A (佐藤住民課長)
資産割廃止で、3
40万マイナスになり、積
み立てていた基金5、80
0万円から補填していく。

■刑法等の一部を改正する
法律の施行に伴う関係条例
の整理に関する条例の制定
について

・根拠となる法律の改正に
より、蓬田村議会の個人情報
の保護に関する条例と、
蓬田村職員の給与に関する
条例を整理するために改正
した。

○国民健康保険税の算定方法が変わりました

青森県では保険料水準の完全統一に向け、令和7年度から資産割を廃止し、令和12年度から県内全ての市町村で保険料の完全統一を目指しています。

村では、所得割、資産割、均等割、平等割から計算する4方式で賦課額を決定していましたが、令和7年度からは資産割を廃止し、3方式で賦課額を決定します。

項 目	医 療	支援金分	介護分 (40～64歳)
所得割	9.00%	2.00%	2.00%
資産割	20.00%	12.00%	10.00%
均等割	25,200円	12,000円	9,000円
平等割	24,600円	8,000円	6,000円



項 目	医 療	支援金分	介護分 (40～64歳)
所得割	9.00%	2.00%	2.00%
資産割	廃止	廃止	廃止
均等割	25,200円	12,000円	9,000円
平等割	24,600円	8,000円	6,000円

(算定例)

条 件	令和6年度 (資産割有)	令和7年度 (資産割無)	差 額
・単身世帯 (45歳) ・所得 1,500,000円 ・固定資産 50,000円	244,900円	223,900円	△21,000円
・単身世帯 (45歳) ・所得 1,500,000円 ・固定資産 0円	223,900円	223,900円	0円





什器とは、施設内で使用する力ウンター等の家具や器具のことです。

■動産の買入れの契約の締結について
・役場新庁舎什器等備品の購入について提案され、可決した。

契約



山舘徹秀さん
(瀬辺地)

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
・人権擁護委員の任期が満了し、再任について法務大臣に推薦するための意見を議会に求められ、満場一致で適任と答申した。
任期は令和7年7月1日～令和10年6月30日。

人事案件

一目でわかる審議内容と結果

	名称（主な内容）	結果	賛成：反対
議案第5号	蓬田村議会の個人情報の保護に関する条例等の一部を改正する条例	可決	7：0
議案第6号	蓬田村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	7：0
議案第7号	投（開）票管理者、選挙長、投（開）票立会人並びに選挙立会人の報酬及び費用弁償額支給条例の一部を改正する条例	可決	7：0
議案第8号	蓬田村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	7：0
議案第9号	蓬田村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	7：0
議案第10号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	7：0
議案第11号	動産の買入れの契約の締結について	可決	7：0
議案第12号	令和6年度蓬田村一般会計補正予算（第9号）	可決	7：0
議案第13号	令和6年度蓬田村介護保険特別会計補正予算（第5号）	可決	7：0
議案第14号	令和7年度蓬田村一般会計予算	可決	6：1
議案第15号	令和7年度蓬田村学校給食センター特別会計予算案	可決	7：0
議案第16号	令和7年度蓬田村国民健康保険特別会計予算	可決	6：1
議案第17号	令和7年度蓬田村介護保険特別会計予算	可決	6：1
議案第18号	令和7年度蓬田村後期高齢者医療特別会計予算案	可決	6：1
議案第19号	令和7年度蓬田村簡易水道事業会計予算	可決	7：0
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	7：0

予算特別委員会



3月4日、5日の2日間、予算特別委員会を開催しました。

令和7年度の全会計予算を審査した結果、すべて可決すべきと決しました。

主な質疑

森林環境譲与税

Q

(坂本委員) 他市町村で、子供たちの植林体験に使用する事例もある。村もそういう取組をしていけないか。

A

(高田産業振興課長) この税は、間伐や人材育成、担い手確保などのため交付され、今年度は森林経営管理意向調査業務委託料の財源とした。子供たちの教育も目的としては的確なので、予算に余裕があれば活用したい。

投票所用プレハブ小屋賃借料

Q

(坂本委員) 新庁舎ができれば期日前投票は新庁舎でやるのか。

A

(稲葉総務課長) 現段階ではそう考

ふるさと納税

Q

(川崎委員) 広告料200万円、システム利用料50万円、代行サービス業務委託料40万円計上されている。寄附の見込みに対して、経費がかかり過ぎていないか。

A

(総務課長) 経費は寄附金に対して50%以内とされている。サイトとの契約で決められており、こつという金額になった。広告料については、ふるさと納税が300万円にまで落ちる見込みで、寄附を増やすため計上している。

A

ふるさと納税にかかる経費の5割以内で収めることとされています。ふるさと納税の経費の算定は、10月1日次年度9月までの寄附金額の5割以内で収めることとされています。主な経費として、返礼品代・システム利用料・代行サービス業務委託料・広告料などがあります。そのため、令和7年度広告料については令和6年10月1日令和7年3月までの前年度寄附金額を加味して算定されています。

庁舎管理業務委託料

Q

(川崎委員) 1,000万円計上しているが、昨年は400万円だった。新庁舎は警備・清掃が昨年度の倍以上かかるのか。

A

(総務課長) 庁舎業務は、夜間2人、土日祝日は日中1人、清掃業務は2人体制で考えているのでこのようになった。

地域おこし協力隊

Q

(吉田委員) 地域おこし協力隊インターンは、何人が申込み、どんな活動をして、どういう成果があったのか。

A

(総務課長) 令和6年度は、地域コミュニティ構築として一般1名、大学生3名、農家作業支援として、大学生1名の計5名の方に活動していただいた。地域コミュニティについては、中沢地区の高齢者を

対象に活動し、農作業については、阿弥陀川地区で農作業を体験したものをSNS等で情報発信した。



村【公式】Xの投稿

移住支援金

Q

(川崎委員) 移住したい人がいても、村には体験できるような宿泊施設がないので検討してはどうか。

A

(総務課長) 今後検討していかねければならないと考えている。

合併処理浄化槽設置整備事業

Q

(小鹿委員) 補助金の内容、積算根拠を教えてください。

A

(高谷健康福祉課長) 1基39万円の5人槽が2基分で78万円、47万4,000円の7人槽が5基分で237万円、計315万円計上している。

Q

(柿崎委員) 合併浄化槽のコンプレッサーは年数が経つと破損が多く、取替は高額になる。コンプレッサー等の修理補助も考えていけないか。

A

(健康福祉課長) 検討していきたい。

福祉事務所未設置市町村による相談事業委託料

Q

(乳井委員) 社会福祉協議会に委託するとあつたが、具体的にどのようなことをするのか、これまでと何か違うところがあるのか。

A

(健康福祉課長) 国の補助事業を活用して、社会福祉協議会で

今やっている心配事相談事業を継続してやっていただきたいと思っている。
これは主に事務局長などの人件費に充てることができ、4分の3の補助金を国からもらえるので、財源的にもメリットがある。

新型コロナウイルス定期接種 インフルエンザ予防接種

Q (川崎委員) 新型コロナウイルス定期接種、インフルエンザ予防接種委託料の対象者と、定期予防接種助成金60万円は何の予防接種なのか聞きたい。

A (健康福祉課長) 新型コロナウイルスの定期接種の対象者は、接種時点で65歳以上と、60歳から64歳までの一定の機能障害のある方。インフルエンザ予防接種は、4月1日現在で65歳以上と60歳から64歳までの心臓や腎臓とか呼吸機能などの免疫機能障害がある方となっている。

また、定期予防接種は、子供の予防接種で、市内医療機関等や集団接種を委託した診療所以外で接種した場合も助成ができるようにしている。

ふれあいセンター指定管理

Q (川崎委員) 指定管理料は昨年より700万円多い2,900万円、屋根と屋上の改修工事費が5,000万円と、かなり村の持ち出しが多いが、入浴料の値上げ等は考えているのか。

A (久慈村長) 値上げすると入浴客数が下がり、収入が入ってこない。管理に関して全般的に見直さないといけない。施設が必要かどうか議論しないといけないと思っている。

農業用ハウス等導入支援事業 振興野菜パワーアップ支援事業

Q (吉田委員) 事業期間は何年の予定か。

A (産業振興課長) 最終的な結論ではないが、複数年の継続を考えている。

ライセンサー指定管理

Q (川崎委員) 指定管理をお願いしている農協に、指定管理をずっと受けてもらうような話し合いはしているか。

A (産業振興課長) 農協から村の所有に移る段階で了解は得ている。

住宅リフォーム補助金

Q (乳井委員) 住宅リフォーム補助金は、高齢者や身体障害者対応のリフォームなどの条件はあるのか。

A (高田建設課長) バリアフリー等の縛りはなく、ほぼ何のリフォームにも使える。

学校給食費無償化 子育て支援事業

Q (乳井委員) 学校給食費無償化子育て支援事業拠出金は、保育園の副食費に充当されているが、今年度はどうなったのか。

A (健康福祉課長) 県から示された限度額964万1,000円のうち885万6,000円を学校給食費に充てた。残り78万5,000円分を保育料無償化と保育所の給食費無償化に充当する。保育料無償化と副食費無償化は、今後も継続予定である。

Q (小鹿委員) 村は県よりも先に給食の無償化を始めたが、それとの齟齬はないのか。

A (八木澤教育課長) 生徒・児童分は県の算定基準の満額、先

生や会計年度任用職員の分で補助金で補い切れなかった分及び算定外の分を、給食費繰出金として計上している。

反対討論

(坂本委員) 物価高で食料品を中心に値上がりが続く、家計が大変逼迫している。村の全世帯に給付金を支給して、生活を助ける政策が必要だと考える。

特に、年金収入のみの家庭では生活が大変困難になっている。

基幹産業に対しては、漁師や農家から聞き取りをして、助成を増やしていただきたい。農機具の助成、1戸当たり50万円、総額1,000万円の補助事業を大規模にして、後継者も残るような施策を期待しているが、そのような政策はなく6年度踏襲の予算が多いというのが現状であることから令和7年度予算案には反対する。

予算特別委員会
村長から提案された新年度予算案の内容が適正であるか審査します。
詳細に審査された結果を本会議に報告し、議決が行われます。

本会議

村長から
予算案の提出
↓
予算特別委員会
設置
↓
審査付託

予算特別委員会

村長、担当課長から詳しく説明を受け、審査を行う
↓
審査
↓
委員会採決

本会議

予算特別
委員長から
審査結果を報告
↓
採決
↓
予算の可決

あなたの声を村政に

令和7年 第1回定例会 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などに方針を問うものです。

議員一人当たりの制限時間は90分で、質問の回数は1つの質問につき、3回までです。



答弁する吉田税務課長



質問する坂本議員

ページ	質 問 事 項	質問議員
11	1. 学校給食について 2. 水道水におけるPFASについて	乳井厳公
12	1. よもぎ温泉について 2. 高校生の通学費について	川崎憲二
13	1. 役場出納室におけるキャッシュレス等の支払い対応について 2. 令和7年村長の任期満了に伴う進退の意向について	柿崎裕二
14	1. 村営牧場への太陽光発電事業について 2. 基礎控除と給与所得控除を合わせた103万円問題について 3. マイナンバーについて 4. よもぎ温泉の除雪機械導入について 5. 学校給食について	坂本 豊
15	1. 新庁舎建設の総合建設費について 2. 村営牧場の管理について 3. ふるさと納税について	久慈省悟



にゅう い つよ ただ
乳 井 厳 公 議員

全文はこちら



給食センターで虫が発生し給食停止 その後の状況は

(村)発生しているが対処している

Q 1月に給食センター内で虫が発生したこと、学校給食はストップされ、弁当持参により対応された。

発生した虫は外部からの侵入の可能性が高いとのことだったが、給食再開後、虫等の発生はないのか。

A (八木澤教育課長) 1日に1匹から2匹いたり、全くいない日もある。

どうしてもトラック搬入口を開けることになるため、そこからの侵入は想定される。
トラック搬入口をはじめ、検収室、下処理室等6か所に捕虫器を設置し、給食に影響のないよう、細心の注意を払っている。

Q これまでも虫等の発生はあったのか。

A (教育課長) 大量発生はないが、長期にわたって数匹ということは見られた。

虫発生の上でも問題ないのか

Q 給食センター内で虫が発生しているのにもかわらず給食を作る事は問題ないのか。

A (教育課長) 外部や搬入口は完全にシャットアウトはできない。入ってきてしまうものにはその都度対処し、給食に影響はないようにしていた。

無償提供停止をどう感じるか

Q 村は学校給食無償化を掲げているが、約2週間にわたり無償提供ができなかったことについてどう感じているか。

A (教育課長) 冬休み明け早々、突然弁当持参ということになり、大変心苦しく思っており、保護者の皆様にはご迷惑をおかけした。

A (教育課長) 冬休み明け早々、突然弁当持参ということになり、大変心苦しく思っており、保護者の皆様にはご迷惑をおかけした。

コバエが給食に混入する危険があったため、初日は非常食のシチュー等に対応した。害虫駆除、消毒等により完全に再開するまでに約2週間という期間を要しました。

改めて保護者の皆様のご協力に感謝している。

給食センターを建築できないか

Q 毎年修繕しているそうだが、新たに給食センターを建築してはどうか。

A (教育課長) これまでは修繕が主だったが、今年度は機能強化の修繕である。

今後、現在の施設をできる限り使用し、安全・衛生管理の徹底に努めたい。

他市町村と連携できないか

Q 給食事業の他市町村との連携などを含めて検討していく考えはありますか。

A (教育課長) 非常食を充実させ、今後ともこのように対処したい。

PFAS検査 しているか

(村)新年度開始

Q 近年、水道水におけるPFASは、全国的に問題となっており、県内では米軍三沢基地からPFASを含む水が流出され、ため池排水路から基準値を超えて検出された。

村の水道水は、PFAS検査を行っているのか。
また、検査結果は公表しているのか。

A (高田建設課長) 国では、8年度から水質基準に追加予定である。

村の水道水の水質検査は青森市企業局に委託しており、PFASに関しては、新年度からPFOS、PFOAを検査する。
今までの検査は、村ホームページで公表している。



かわ さき けん じ
川 崎 憲 二 議員

全文はこちら



よもぎ温泉にバイオマスボイラーを導入できないか

(村)工事の結果をみてから

Q

よもぎ温泉は、物価等の高騰や最低賃金の引上げによる人件費増加で、指定管理料が昨年より700万円多い2,900万円、経年劣化の修繕工事費等で4,800万円など、多額の経費がかかっている。

憩いの場として存続させるためには、経費削減が重要課題である。

ランニングコストが削減できる、もみ殻を燃料としたバイオマスボイラーの早期導入を検討してはどうか。

A

(高谷健康福祉課長) もみ殻を燃料としたバイオマスボイラー導入は、コスト削減に加え、CO2排出量削減効果もあり、脱炭素社会の推進につながる。使用後のもみ殻も、土壌改良剤の薫炭とすることで、資源循環が図られ、地域貢献が図られることなど、大変有効的なものであると考えている。

しかし、よもぎ温泉は昨年の夏頃より源泉が出ていない状態が続いている。

4月以降に源泉井戸しゅん溝工事を予定しているところであり、その結果を踏まえ、ボイラーの交換時期、財源などと併せて、再生可能エネルギーの活用について慎重に検証していきたいと考えている。

高校生の通学費を助成できないか

(村)事業の優先度を検討する

Q

令和7年度から、青森県学校給食無償化等子育て支援市町村交付金は、無償化先行自治体でも全額補助し、どの子育て支援策の経費にも充当可能とされた。

高校生のいる世帯にとって、通学費の電車・バス代はかなり負担になっている。

この交付金は、現金給付は対象にならず、通学体系が様々であるため精査が必要とのことだったが、領収書を添付してもらった申請方式するなど、独自の助成ができないか。

A

(教育課長) 令和7年度から学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金は、既に学校給食費を無償化している市町村に対しても、学校給食費及びその他の無償化事業に10割で交付されることになった。

今年度から村では、高校へ入学の際、入学祝い金として10万円を交付している。

また、高校無償化に向け、国の新年度予算案も成立することになった。近年の物価高騰等により、高校生のいる世帯では、通学費の電車・バス代が負担になっていると思うが、財源等の問題もある。

限られた予算の中でどの支援策を優先していくべきか、また近隣自治体の状況も確認しながら検討していきたいと思う。





かき ざき ゆう じ
柿 崎 裕 二 議員

全文はこちら



役場にキャッシュレス導入できないか

(村)新庁舎完成後検討する

Q 税金等に関してキャッシュレス納付、クレジット決済、スマホ決済で

きるが、それ以外は対応になっていない。

役場にキャッシュレスを導入できないか。

A (稲葉総務課長) キャッシュレス決済端末や自動釣銭機、納入書のバーコードから納入者情報を読み取るハンディスキャナーを連携できるレジを置くことで、村民の利便性向上や職員における収納業務が軽減されることが期待される。

各課が扱う手数料や証明書等の支払いなどの情報をまとめ、導入計画を進めていくための人員を配置する

ことができないため、今は難しいと考える。

Q 利便性向上、業務の効率化、コスト削減、感染症対策のほかに、スムーズな支払い手続が行えることによって、移住者の促進につながるのではないか。

新庁舎開庁に合わせて検討できないか。

A (総務課長) 現在庁舎建設に2名の人員を割いているので厳しい。庁舎完成後からということでお願いしたいと思う。

村長任期満了後の進退を聞きたい

(村長)十分に話し合い決めたい

Q 令和7年度、村長の任期満了に伴い、進退の意向について伺いたい。

村長の任期が、令和7年度11月をもって満了を迎えることに伴い、新聞でも今後の進退については3月議会をもって表明したいとあった。

次期村長選を含め、進退について考えをお聞ぎしたい。

A (久慈村長) 1月4日の記事には、進退については五分五分、3月議会までには表明したいとしたが、この記事に依じたのが、実は12月20日で健康に全く問題なく過ごしていた。

その後、12月24日の検査で治療をしないといけないということで、2月8日から

2月13日までの入院となった。支援者、後援会の皆様にお話することができなかったもので、非常に苦しんだ。

退院から3週間はおつたが、自分の健康の問題も考えて、集会も持たないまま議会に突入してしまった。

庁舎建設は6月に完成、8月に移動できれば、1つのけじめがつくのではないかと考えている。

それと、村の将来、人口減少など、まだまだ課せられた課題はあるのかと考えるのと同時に、病気・健康の問題が出てくる。将来、果たしてもつのかどうかといった考えもある。

ここは支援者、後援会の皆さんと十分に話し合いをしながら決めたいと思っている。

うことは誠に申し訳ないが、そういう事情があったので、今日は進退についてはつきりと申し上げることは控えさせていただきます。



さかもと
坂本

ゆたか
豊 議員

全文はこちら



太陽光発電は どうなったのか

(村)検討中

Q 村営牧場に太陽光発電パネルを設置する事業の説明があつたが、その後どうなったのか。

A (高田産業振興課長) 日本風力開発による航空測量が実施され、その結果を基に、事業性の1次検討を行っていることである。

Q 環境問題が出てくると影響を受ける地区住民に対し、説明会はあつたのか。

A (産業振興課長) 現在住民への説明会は開催していないが、今後事業者が事業を進める結論が出た場合説明会が行われると考える。

Q 事業のメリットと、予想される災害等についてどう考えるか。

A (村長) メリットとしては、牧場の返地には莫大な経費がかかるが、それを業者が返地し、また業者が借りる形で進めていく。災害は、現状の土地を壊さないように使うことで、土砂崩れなどは発生しないと思っている。

103万円問題について

Q 基礎控除103万円を引上げるとさういふ。村ではどのくらい減収になるのか。

A (吉田税務課長) 令和6年度ベースで103万円に基礎控除57万円を上乗せした場合、全体で2,670万円の減収が見込まれる。

Q この減税についての賛否と、生活の大変さを村長として発信できないか。

A (村長) 減税に対しては賛成である。国の税制に意見を申し上げるのは非常に難しい立場で、できるものではないと思っている。

マイナンバーについて

Q 国は普及に、数兆円もの経費をかけ、情報を企業にもうけの種として利用させるためデジタル庁があると思うが、村長はどう考えるか。

A (村長) 国の政策に引き、交付金等を頂き、村も事務を進めているが、そのような意見はないものと信じている。

Q 村の普及率及び、カードを持たない人は何人いるのか。

A (佐藤住民課長) 1月31日現在、人口2,427人、カードの申請率は94・91%、交付率は93・4%。カードを持たない方、転出や亡くなった方は50名前後、持ちたくない方、紐づけていない方は70〜80名と想定している。

よもぎ温泉 除雪機について

Q よもぎ温泉の役員の方が自前のトラクターで除雪をしている。除雪機を検討できないか。

A (健康福祉課長) 村で配置した除雪機で除雪していると報告を受けている。除雪機の年数が経過しているので、交換については使用者とも相談したい。

学校給食について

Q 学校給食がハエの侵入で止まり、弁当持参のための家庭の経費が増えたが、援助を考えているか。

A (吉崎教育長) 今回は本当に不測の事態で、2週間という長い間、保護者の方々にお手数をかけて申し訳ないと思っている。

ただ、作っていないときの食材は使われていないので、予算は浮かないということになる。

A (村長) 個人から給食費を徴収しているのであれば返すべきだが、無償化だから給食を出さなかった分予算化してそれを返しなさい、というのは無理だと思う。



久慈省悟 議員

全文はこちら



新庁舎建設費総額 見込みはいくらか

(村)28億8,000万円

Q 公有施設整備基金は12月期の報告で、12億3,920万円あったが、全て使われてしまうのか。

また、新庁舎建設事業費は、外構工事や、庁舎内備品等トータルでどのぐらいの見込みになるのか。

A (総務課長) 現在の見込みでは、新庁舎建設完了後の公共用施設整備基金は3億6,400万円残っている。新庁舎建設工事費18億5,790万円、用地買収費、造成工事費、設計・管理費、地中熱利用空調設備等工事費、什器等備品購入費その他関連事業費合わせ28億8,005万7,000円を見込んでいる。

牧場の状況を 説明してほしい

(村)適時報告する

Q 昨年6月、日本風力発電株式会社が、牧場に再生エネルギーを設置したい、風力発電は採算性に乏しいということで、太陽光パネルの提案をうけたが、現在の状況を教えてほしい。

A (産業振興課長) 日本風力開発の航空測量結果を基に、事業性の1次検討を行っているところ。報告を受けている。

また、この事業について議員の皆様への報告・説明は進捗状況内容を考慮し、適時行わせていただきたいと考えている。

ふるさと納税の経費を除いた 金額はどのくらいか

(村)6,065万2,000円

Q オーダーメイドスーツの仕立券などのおかげで、令和6年度で1億530万円の寄附をいただいたが、経費を除き、村が活用できた金額はどのくらいか。

A (総務課長) 記念品及び配送料やサイト掲載料などの経費、約42・4%を除いた約6,065万2,000円になる。

Q 蓬田紳装からの花菱撤退により、今度新しい記念品を開発したいという説明だったが、選任の村職員を担当として置き、ふるさと納税の金額を増やす考えはないか。

A (村長) 昨年視察で北海道白糠町へ行ってきた。白糠町のふるさと納税は、令和5年度107万件で167億円以上、全国第4位の金額で、地元資源を商品化し、ネットショップ白糠町商店として出店し成功した。安定した寄附実績を出せることが専任の配置に関わってくるが、新庁舎完成後、人事も考えていければと思っている。

旧ライスセンターの改修、新庁舎の建設事業にめどがつけば進めていきたいと思っている。

議会 視察 レポート

蓬田村漁業協同組合役員に聞く

今年のホタテは大丈夫か

2月21日、高水温や採苗不振により深刻なホタテ養殖について蓬田村漁業協同組合役員の皆さんに伺いました。



福井明彦組合長

ホタテの分散を始めたのは10月20日頃で、例年の8割くらい詰めたが、2月20日頃には1段の中で3〜5枚、中には10枚くらい死んでいた。年明けには、1〜2枚しか生きていないところも何段もあった。



福田伸吾副組合長

毎回玉付けするたびにネットを上げて見ているが、陸側と沖側は水深差で生存率が違う。

1段に生きているのが2枚しか入っていないくて、空の死んだものが20枚くらいあり、ミニズ牡蠣が付いていた。沖は10枚くらい生きてい

るが、網を下まで引き揚げると2段目は5枚くらいしか入っていないかった。出荷するときは、一昨年は1ネットで250〜300枚を目指しているが、今年は1段で20枚しか生きていないと思う。

沖側、陸側合わせても3割より更に減り、厳しい状況にあると思う。



坂本浩副組合長

10月25日で、水深47メートルの深い場所で生きているのが1段20枚くらい。

11月10日に、水深40メートルのところでは、付着物がついてしまっていた。沖の方が早く死んだのかもしれない。

小さいものは出荷できるものになっていないし、大きいものも出荷に間に合わない状況だ。



田村初雄理事

採苗から稚貝採取までは順調に来ていた。

秋の分散を10月中旬から12月前半までへい死が止まらなかった。

いつもなら10日から2週間ペースで玉を付けていくが、2月17日には10段のうち7割くらい空で3割くらい生きているのが残っていた。沖のほうのがもう少しいいのかもしれない。

成貝のほうは順調に玉がついている。



古川正美理事

一昨年ひどい経験をしたので、去年は採苗も3割ほど増やし、漁師仲間から付

着のないものを貰い受けてりして夏に沈めた。水温でダメになる前に、10月末から入れ替えたが、最近玉付けをやってみるとあんまり沈んでいない。

生存率はよくて3割、多くは2割から2割5分か。一昨年悪く、去年はよく、今年はまたこれかと戦々恐々としている。

合算すると1500トンの3割前後が水揚げ目標かもしれない。



張間大介代表監事

高水温の影響なのか、近年で貝の質は一番悪いと思う。付着物などが色々ついている。

去年は生き残った貝が順調に成長してそれなりにカバーできたが、今年は相当厳しいと思っている。

連休明けの出荷を考えているが、6センチ以上の貝がどのくらい出るのか。実態調査では20何%と出ているが、あれはたまたま良いところを見て回答したので、実際にはもっと悪い。



越田二郎監事

半成貝は10月31日から始めたが、その時点で死んだ貝が混ざっていた。2月17日に玉付けに行つたが、全域で良くて10枚生き残っているかどうか。同じ繋りのネットでも下の段は3枚しか生き残っていないなど、生存確率はまちまちで判断がつかない。2週間前に玉付けしたが、以降も玉は全然沈まなくて期待できない。生き残っている貝も、大きい方で5センチが何枚か

あるが、いまだに3センチくらいが圧倒的に多い。育ち方を見ると、今後は5割いけばいい方だ。



柿崎議員

供給が少なく高値で出荷した場合、どのくらい収入を確保できるのか。

(福井組会長) 聞き取りで出た3割の水揚げだと、例えば個人で30トン出たとしても3000円では約900万円。通常20000万くらい揚げている人が900万では、経費は掛かるし、人件費は掛かるしで全然間に合わない。半分くらいの落ち込みであればまだカバーできるかもしれないが。



坂本議員

行政に要望はあるのか。

(福井組会長) 去年は湾全体でお願いしたが、現状は自助努力、地域共助で疲弊しながらやっている。出荷して状況が見えたら、行政にお願いすることが出てくる可能性がある。



乳井議員

中層において稚貝と下層において稚貝の生存率に違いがなかったと報道にありますが実際はどうなのか。

(福井組会長) 中層に置いた人でも上の段は半分以上死んでいたらしい。

下層に置けばガスや、付着物が付きやすい。(古川理事) 少ないサンプルでの研究結果が新聞に掲載されているが、そういう情報もちゃんと精査しないといけない。



小鹿議長

大変厳しいという話を伺った。漁協のほうでも、むつ湾振興協会や漁連、県、村の行政単位でも話をしていくと思うが、どうゆう要望が出てくるか。

出されたら議会にも上がってくると思うので、我々もホタテ産業を残していき、皆さんの生活を考えていかなければいけないと思うので、その際はよろしくお願いしたい。



村内のへい死したホタテ(左)と生きているホタテ(右)



青森県漁業協同組合連合会ホームページより引用

議員の主な活動

2月18日	青森県町村議会議長会 臨時総会
2月21日	例月集会 ホタテ状況聞き取り調査 新事業課長説明会
2月26日	蓬田村表彰式
2月27日	県町村議会議長会 定時総会
3月3日	例月出納検査
3月4～7日	第1回定例会
3月7日	新庁舎建設現場視察
3月11日	蓬田中学校卒業式
3月19日	蓬田小学校卒業式
3月28日	外ヶ浜中央病院医療提供体制説明会
3月29日	第5分団屯所竣工式 第4分団ポンプ車入魂式
4月3日	例月出納検査
4月7日	小学校入学式 中学校入学式



皆さんの声をお聞かせください

村民の皆さんに伝わる広報作りを目指し、ご意見をお待ちしています。

青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊
副委員長：川崎憲二
委員：吉田 勉
委員：乳井厳公

電話 0174-27-2111

編集後記

今年も早や5月だが、山には雪が残り、風の冷たい日もある今日この頃。

政府は備蓄米を放出し、少しでも価格を抑制しようとしているが、令和の米騒動は収まるどころを知らないようだ。今年の米価も高値が見込まれ、消費者は大変だが生産者にとっては喜ばしい限りである。

またもう一つの村の基幹産業であるホタテ養殖。稚貝は確保できたものの、温暖化のせいか生育が悪くなりへい死しているという。入札単価は過去最高を更新したが、出荷量が懸念される。

当村の発展を大きく左右する漁業・農業の動向を注視し、見守っていきたい。

(かわけん)



2月26日 蓬田村表彰式



3月7日 役場新庁舎建設現場視察



3月11日 蓬田中学校卒業式



3月29日 第5分団屯所竣工式 第4分団ポンプ車入魂式